

放射線治療中の肌のケア

放射線治療を受けた皮膚は、汗が出にくくなり
皮脂分泌も少なくなるため、皮膚がカサカサに
なってドライスキンの状態になります。
そのため、スキンケアがとても大切になります。

放射線治療中の基本的なスキンケア ～3つのポイント～

1 肌を清潔にしましょう

- ・入浴、シャワーは毎日行いましょう
- ・石鹸は泡立てて、優しく洗いましょう



2 保湿をしましょう

- ・治療開始から保湿剤を塗布します
- ・塗り方は看護師から説明します



3 照射部位の保護

- ・搔かない、こすらないが基本です
- ・軟らかい素材、しめつけない衣類を着用しましょう
- ・爪切りをしておきましょう



放射線皮膚炎とは

放射線は、外部から体内のがんに照射するとき、必ず皮膚を通りぬけます。
そのため、放射線を照射した部位の皮膚に、
赤みや乾燥、かゆみやヒリヒリ感など、日焼け
に似た症状が起こります。

皮膚炎は、照射線量、照射方法、化学療法の
併用などによって程度が異なります。

皮膚の変化は、放射線治療の開始後1～2週間
で始まり、通常は放射線治療が終了した数週間
から徐々に落ち着いてきます。

照射部位を把握しておき、皮膚症状が
出たら、医師や看護師へ伝えましょう

